

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年4月1日

下関短期大学付属第二幼稚園

1 本園の教育目標

- ・ 明るくげんきな子ども
- ・ すすんで何でもしようとする子ども
- ・ ねばり強くがんばる子ども
- ・ すなおで思いやりのある子ども

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

新二幼プラン（二幼教育課程）に基づいた教育・保育実践を展開するとともに、保護者に活動の具体を可視化することにより、本園教育・保育の理解・協力を強化する。

チャレンジ目標：考える、決める、やってみる！

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教育課程の実践を可視化する。	A	動画配信アプリを活用し、日々の活動を動画で発信した。
2	教職員間の情報共有とOJTを推進する。	B	3歳未満児部、以上児部によるケース会議を定期的・臨時的に開いた。
3	新型コロナウイルスの感染防止対策に努める。	B	変異するウイルスの特徴に応じてマニュアルを随時更新し、全教職員で対策強化に努めた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	評価アンケートで高評価を得ている項目がほとんどで、園の努力が伝わってくる。動画配信アプリは、保護者に大変好評のようで素晴らしい取組である。ケース会議等、時間を生み出すのがひと苦労だと思うが、職員間でちゃんと情報が共有できているなど保護者に思っていただけることが信頼につながる。

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	チャレンジ目標アクションプランの展開	指導計画の様式を改訂し、チャレンジ目標に向けた活動を明記するとともに、園児の自発的な活動を保障・促進する。
2	危機管理体制の強化	新型コロナ対策委員会を組織するとともに、外部の意見を取り入れながらコンプライアンス行動指針を策定する。
3	中期計画に基づいた取組の開始	短大との連携、地域参加・地域貢献、ICT機器の効果的活用、家庭訪問等。

6 学校関係者評価委員の評価

わくわく山を始めとする豊かな自然環境を生かした保育、一方で、最新の情報機器を活用した保育や情報発信、この相対的な両者が揃っているのが本園の強み。コロナ禍であっても工夫して新しいことにチャレンジしている姿勢は、園の発展につながってくると思う。